



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「たつ子の相談室」

九月十一日の『ラフ新報』の「たつ子の相談室」に、牧師としての仕事上、よく陥りやすい問題を取り扱った記事が載った。ここに紹介しよう。

「私の友達、Fさんには二十二歳の息子さんがありますが、彼は彼女の頭痛の種です。ドラッグにはまっていて、彼女の家にいないを見計らっては金目のものを盗んでゆくのだそうです。一人息子なので、Fさんもご主人も、彼をリハブにしようとしたり、セラピストに行くように一生懸命に努力はしたそうですが、息子さんとは全く関心がないと言っていました。大人なので、強制はできないそうです。Fさんと会うたびに「嫌気がさした。もうこりこり、ドラッグ息子など、自分の子ではない。大嫌いだ」と私に言うので、私も、「あなたやご主人を傷つけている息子さんは、私も好きになれない」と同意したのですが、そして、Fさんはすごい剣幕で私に「あなたからそんなこと聞きたくないわ!」と怒り出し、コーヒーストップから、さっさと出ていきました。私はFさんの言葉にうなずいただけに。それ以来、Fさんからの連絡が途絶えています、電話にもメッセージを残しましたが、返信が一切ありません。Fさんとは二十年来の友達です。このことで彼女とのフレンドシップを失いたくはありません」。

これに应运ってたつ子先生は、「少し時間を置けば、Fさんはあなたにまた連絡してくると思います。母親が自分の息子を悪く言うのはよくありますが、だからといって、他の人から悪口を一緒に言われると、彼女は自分が産んだ子供ですから、自分のことを悪く言われているように感じてしまい、気分を害したのでしょうか。それと、母親としては、どんなに息子の悪口を言っても、やはり自分の子供は可愛いもの。彼がどんなに間違った道を歩んでいても。わが子はわが子なのです。Fさんは、とにかく辛くて、あなたにただ、話を聞いてほしかった。これを機会に聞き上手になりましょうね。聞き上手とは、相手が特にアドバイスを求めてこない限り、『なるほど...:はあはあ』と相槌を打つだけです」

パウロはローマ書で「信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのである」(十・17)と語る。神と人間との関係は信仰によって結ばれるのであり、それは聞くことから始まる。だが、じっと聞いていては辛いことはない。多くの忍耐を必要とするからだ。だからつい相手に同調して却って問題を起こすことになる。相手はただ聞いて欲しいのだ。主も私たちに自身の言葉にうなづいて欲しいのだ。それが信仰であり、最善の道だからだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

